

日本藻類学会第 39 回大会講演プログラム

3月21日(土) 午前の部

9:00 – 12:20 口頭発表

A 会場 (301 教室)			B 会場 (302 教室)		
9:00	A01	88 年前の紅藻ヨグレコナハダからの DNA 抽出と次世代シーケンサを用いた分類 ○鈴木 雅大 ¹ ・瀬川 高弘 ² ・秋好 歩美 ² ・大槻 涼 ³ ・栗原 暁 ⁴ ・北山 太樹 ⁵ ・阿部 剛史 ⁶ ・小亀 一弘 ⁷ ・野崎 久義 ¹ (¹ 東京大・院理, ² 極地研・新領域融合研究センター, ³ 駒澤大・総合教育, ⁴ 九州大・院農, ⁵ 国立科博, ⁶ 北海道大総合博物館, ⁷ 北海道大・院理)	B01	珪藻個体群のウイルス感受性は増殖フェーズによって変化するか? ○外丸 裕司 ¹ ・木村 圭 ^{1,2} (¹ 水研セ瀬戸水研, ² 佐賀大・低平地沿岸センター)	
9:15	A02	近縁な海産・淡水産シオグサの遺伝的多様性と分布パターンの比較 ○丹羽 一夫・吉川 伸哉・神谷 充伸 (福井県大・院・海洋生物)	B02	珪藻 <i>Chaetoceros tenuissimus</i> と DNA/RNA ウィルスの感染特異性 ○木村 圭 ¹ ・外丸 裕司 ² (¹ 佐賀大・低平地沿岸センター, ² 水研セ瀬水研)	
9:30	A03	北米産ツルモ属の系統地理-新たに確認された越境移入- ○川井 浩史 ¹ ・羽生田 岳昭 ¹ ・T. Mumford ² ・J.R. Waaland ³ (¹ 神戸大・内海域セ, ² Marine Agromics, ³ Univ. Washington)	B03	河川一次生産力を基にした役勝川におけるリュウキュウアユの環境収容力の推定 ○阿部 信一郎 ¹ ・井口 恵一朗 ² (¹ 茨城大, ² 長崎大)	
9:45	A04	佐渡島内におけるアカモクの遺伝的構造について 渡辺 幸平 ¹ ・吉田 友和 ² ・上井 進也 ³ (¹ 新潟大学・院・自然, ² 新潟県海洋水産研, ³ 新潟大学・理)	B04	ラビリンチュラ類の定点調査から明らかになった系統群ごとの季節的消長と海洋生態系への影響 ○上田 真由美 ^{1,2} ・野村 友佳 ³ ・土井 耕作 ^{1,2} ・柿本 結生 ³ ・中嶋 昌紀 ⁴ ・本多 大輔 ^{2,3} (¹ 甲南大・院・自然科学, ² 甲南大・統合バイオ研, ³ 甲南大・理工・生物, ⁴ 大阪環農水研)	
10:00	A05	黒潮流域のホンダワラ 2 種について 鯉坂 哲朗 (京都大・院・農)	B05	有害赤潮鞭毛藻 <i>Karenia mikimotoi</i> の増殖における鉄利用能の検討 ○内藤 佳奈子 ¹ ・大西 菜月 ¹ ・紫加田 知幸 ² ・坂本 節子 ² (¹ 県立広島大・生命環境, ² 水研セ・瀬戸内水研)	
10:15	A06	北西太平洋における石灰藻球 (Rhodolith) 研究 ○加藤 亜記 ¹ ・馬場 将輔 ² ・松田 伸也 ³ ・井龍 康文 ⁴ (¹ 広島大・生物圏, ² 海洋生物環境研究所, ³ 琉球大・教育, ⁴ 東北大・理)	B06	褐虫藻 <i>Symbiodinium minutum</i> のミトコンドリアゲノムの解説 ○將口 栄一・新里 宙也・久田 香奈子・佐藤 矩行 (沖縄科学技術大学院大学・マリンゲノミックスユニット)	
10:30-10:35			休憩		
10:35	A07	宮城県沿岸のアラメ群落における東日本大震災後の変動 ○村岡 大祐 ¹ ・玉置 仁 ² (¹ 水研セ・東北水研, ² 石巻専修大学)	B07	新奇緑色渦鞭毛藻室蘭株・鶴岡株における葉緑体ゲノム比較解析 ○森田 幸之介 ¹ ・谷藤 吾朗 ¹ ・中山 卓郎 ² ・神川 龍馬 ³ ・皿井 千裕 ⁴ ・高橋 和也 ⁴ ・岩滝 光儀 ⁵ ・稲垣 祐司 ^{1,2} (¹ 筑波大・院・生命環境科学, ² 筑波大・計算科学研究セ, ³ 京都大・院・地球環境, ⁴ 山形大・院・理工, ⁵ 東京大・アジアセンター)	
10:50	A08	岩手県吉浜湾舟作海岸の潮間帯海藻群落に対する東日本大震災の影響 ○難波 信由・篠塚 美佐希・加戸 隆介 (北里大海洋)	B08	新奇緑色渦鞭毛藻類における緑藻遺伝子の網羅的探索-新たなヌクレオモルフゲノムへの示唆 ○中山 卓郎 ¹ ・谷藤 吾朗 ² ・神川 龍馬 ³ ・松尾 恵梨子 ² ・皿井 千裕 ⁴ ・高橋 和也 ⁴ ・岩滝 光儀 ⁵ ・稲垣 祐司 ^{1,2} (¹ 筑波大・計算セ, ² 筑波大・院・生命環境科学, ³ 京都大・院・地球環境, ⁴ 山形大・院・理工, ⁵ 東京大・アジアセンター)	
11:05	A09	吉野川河口産アオサ属 2 種の分布・成長特性の比較 ○木下 優太郎 ¹ ・平岡 雅規 ² ・團 昭紀 ³ (¹ 高知大学・院・理, ² 高知大・総研セ, ³ 徳島水研)	B09	嫌気性ストラメノパイル生物 <i>Cantina marsupialis</i> が有するミトコンドリア関連オルガネラの代謝能推定 ○野口 文哉 ^{1,2} ・島村 繁 ² ・中山 卓郎 ³ ・矢崎 裕規 ³ ・橋本 哲男 ³ ・稲垣 祐司 ³ ・藤倉克則 ^{1,2} ・瀧下 清貴 ² (¹ 東京海洋大学, ² 海洋研究開発機構, ³ 筑波大学)	

- 11:20 **A10** 広島湾のグリーンタイドにおけるアオサ属2型の季節的遷移と成長特性
 ○吉田 吾郎¹・内村 真之²・平岡 雅規³ (¹瀬戸内水研,
²いであ,³高知大)
- 11:35 **A11** 東京湾の青混ぜ海苔に利用されるアオノリ種の同定および人工採苗技術開発に向けた成熟誘導条件
 ○島田 裕至¹・正清 友香²・畠田 智² (¹千葉水総研セ,
²お茶大・生命科学)
- 11:50 **A12** 阿寒湖沼群におけるマリモの分布と水環境
 ○若菜 勇¹・田村 由紀²・尾山 洋一³・山田 浩之⁴ (¹釧路市教委・マリモ研,²環境コンサル・株,³筑波大・院・生命環境,⁴北大・院・農)
- 12:05 **A13** スミレモの和名の起源を訪ねて
 ○半田 信司・溝渕 綾 (広島県環境保健協会)
- B10** クロララクニオン藻におけるオルガネラ DNA ポリメラーゼ POP の進化
 ○渡辺 ありさ¹・平川 泰久²・石田 健一郎² (¹筑波大・院・生命環境,²筑波大・生命環境系)
- B11** 微細緑藻 *Prototheca wickerhamii* がもつ rRNA 遺伝子群のモザイク構造と転写様式, ならびに新奇エキソソーム様構造物について
 上野 良平 (山梨県富士山科学研究所)
- B12** ホモタリクナヒメミカヅキモにおける *CpMinus1* 相同遺伝子の機能解析
 ○土金 勇樹¹・横山 佳菜¹・鈴木 稔²・西山 智明³・関本 弘之¹ (¹日本女子大・理,²東大・院・新領域,³金沢大・学際)
- B13** アオサ藻綱ヒラアオノリのゲノム解読と雌雄ゲノムの比較による性決定領域の探索
 ○山崎 誠和¹・鈴木 亮吾¹・市原 健介^{1,2}・豊田 敦³・桑野 和可⁴・鈴木 稔⁵・河野 重行¹ (¹東大・院・新領域,² JSPS・PD,³ 遺伝研,⁴ 長崎大・水産,⁵ 東大・院・メディカルゲノム)

12:20 – 13:20 昼休み

3月21日(土) 午後の部

13:20 – 14:20 ポスター発表 (奇数番号) (207・209・305・307 教室)

- P01** 三重県英虞湾座賀島周辺のヒライボ群落の現存量推定
 ○倉島 彰・吉見 和輝・石川 達也・戸瀬 太貴・前川 行幸 (三重大・院・生物資源)
- P03** 千葉県館山市坂田地先における大型褐藻オオバモクの成長と食害の影響
 ○山野 旬郎・川田 健太・早川 雄飛・町田 一真・秋田 晋吾・藤田 大介 (東京海洋大学・応用藻類)
- P05** 岐阜県美濃市周辺におけるカワモズク類の分布と季節的消長
 丹羽 瞳・○津田 格 (岐阜県立森林文化アカデミー)
- P07** 千葉県館山市坂田地先におけるクロメの季節的消長
 ○川田 健太・山野 旬郎・早川 雄飛・町田 一真・秋田 晋吾・藤田 大介 (東京海洋大学・応用藻類)
- P09** 高知県東部で分布を拡大する褐藻フタエモク (*Sargassum ilicifolium*) の季節消長
 ○小野 兼作¹・田中 幸記²・源平 慶¹・平岡 雅規² (¹高知大・院・理,²高知大・総研セ)
- P11** 富士北麓, 精進湖におけるフジマリモの分布
 ○芹澤 如比古^{1,2}・金原 昂平²・芹澤 (松山) 和世¹ (¹山梨大・教育,²山梨大・院・教育)
- P13** A spring marine algal vegetation in the Muan, Jindo and Geomundo coast, Korea
 Su-Yeon Lim・Jae-Hoon Bae・Man-Gu Kang・Tae-Ho Seo・○Jong-Ahm Shin (Department of Aquaculture, College of Fisheries and Ocean Sciences, Chonnam National University, Korea)
- P15** Diversity of *Hydroclathrus* (Scytosiphonaceae, Phaeophyceae) in Japan
 ○Wilfred John E. Santiañez・Kazuhiro Kogame (Grad. School Sci., Hokkaido Univ.)
- P17** メタバーコーディング解析による海底礫表面からの海藻種網羅検出の試み
 ○高野 義人¹・村澤 博基²・漆崎 慎吾³・安池 元重¹・田辺 晶史¹・藤田 大介²・長井 敏¹・桑原 久実⁴ (¹水研セ・中央水研,²東京海洋大,³アクシオヘリックス (株),⁴水研セ・水工研)
- P19** 父島列島から得られた網角海綿に共生する紅藻について
 ○北山 太樹¹・泉 貴人²・鈴木 雅大² (¹国立科博,²東京大学・院理)
- P21** 愛媛県産紅藻エナシカリメニアの分類学的検討
 ○柴田 健介¹・鈴木 雅大²・北山 太樹³ (¹愛媛 (株),²東京大・院理,³国立科博)
- P23** 日本産褐藻クロモ属 (ナガマツモ科) の一新種について
 ○三好 浩平¹・羽生田 岳昭²・金 聖浩²・神谷 充伸³・藤田 大介⁴・菊地 則雄⁵・伊藤 知子⁶・川井 浩史² (¹神戸大・院・生物,²神戸大・内海域セ,³福井県立大・生物資源,⁴海洋大・海洋生物,⁵千葉県博,⁶新潟県・水研)
- P25** 愛媛県八幡浜市大島産ヒジキの生長と成熟
 ○源平 慶¹・小野 兼作¹・田中 幸記²・平岡 雅規² (¹高知大・院・理,²高知大・総研セ)
- P27** ウップレイノリ糸状体の生育に及ぼす温度, 光量, 塩分の影響
 馬場 将輔 ((公財) 海洋生物環境研究所)
- P29** 千葉県館山市坂田地先の潮間帯に設けた裸地でのヒジキの入植と植生の遷移
 ○宮川 椋・藤田 大介 (海洋大・応用藻類)

- P31** シャジクモの遺伝地図構築に向けたジェノタイピングを用いた交配実験系の確立
 ○宮田 大輔¹・西山 智明²・川井 浩史³・坂山 英俊⁴ (¹神戸大・理・生物, ²金沢大・学際科学セ, ³神戸大・内海域セ, ⁴神戸大・院・理・生物)
- P33** GPS 魚探と簡易垂下式ビデオカメラを用いた漁港・周辺藻場のモニタリング手法の検討
 ○櫻井 克聡^{1,3}・桑原 久実²・平野 央³・秋田 晋吾¹・早川 雄飛¹・宮川 椋¹・藤田 大介¹ (¹海洋大・応用藻類, ²(独)水総研セ・水産工学研, ³山形県水産試験場)
- P35** 環境省モニタリングサイト 1000 沿岸域調査における藻場のモニタリング 2014 年の成果
 ○寺田 竜太¹・川井 浩史²・倉島 彰³・坂西 芳彦⁴・島袋 寛盛⁵・田中 次郎⁶・村瀬 昇⁷・青木 美鈴⁸・横井 謙一⁸ (¹鹿児島大・水, ²神戸大・内海域セ, ³三重大・院・生資, ⁴日本海水研, ⁵瀬戸水研, ⁶海洋大・院・海洋科学, ⁷水大校, ⁸WIJ)
- P37** 海産植物は個体群密度が高いほど一次生産量が低い？
 ○Gregory N. Nishihara¹・古賀 愛梨沙² (¹長崎大・院・水環・環東シナ海セ, ²長崎大・水産)
- P39** 鹿児島産ハナヤナギとマクリの光合成に対する光と温度の影響
 ○吉里 敬祐¹・Gregory N. Nishihara²・寺田 竜太¹ (¹鹿児島大・水, ²長崎大・院・水環・環東シナ海セ)
- P41** 鹿児島に生育するヒジキの光合成活性に対する乾燥の影響
 ○國分 翔伍¹・Gregory N. Nishihara²・寺田 竜太¹ (¹鹿児島大・水, ²長崎大・院・水環・環東シナ海セ)
- P43** 水分条件がイシクラゲの成長に与える影響
 川口 健一¹・小森 一貴¹・大門 且宗²・木村 吏那²・阪本 萌乃佳²・中川 知毅²・中澤 和也²・菱田 愛里²・藤澤 愛²・洲上 利香² (¹滋賀県立守山高等学校・教諭, ²滋賀県立守山高専・2 年生)
- P45** 西太平洋沿岸に分布する無殻渦鞭毛藻 *Amphidinium* 属 53 株の形態と系統
 ○笹井 理美¹・高橋 和也¹・岩滝 光儀² (¹山形大・院・理工, ²東京大・アジアセンター)
- P47** 2-MIB を産生する藍藻の新種 *Pseudanabaena foetida*
 ○新山 優子¹・辻 彰洋¹・一瀬 諭² (¹国立科学博物館植物研究部, ²琵琶湖環境科学研究センター)
- P49** 葉上生の気生藻類 *Phycopeltis* (スミレモ科, アオサ藻綱) の新たな生活型
 ○溝渕 綾¹・半田 信司¹・正田 いずみ²・中原 坪田 美保³・坪田 博美² (¹広島県環境保健協会, ²広島大・院・理, ³千葉中央博・共同研究員)
- P51** 石垣島石西礁湖の水柱に出現する褐虫藻
 ○山下 洋・鈴木 豪 (水産総合研究センター・西海区水産研究所)
- P53** ラビリンチュラ類による珪藻 *Skeletonema* からの栄養摂取
 ○浜本 洋子¹・本多 大輔^{2,3} (¹甲南大・院・自然科学, ²甲南大・理工・生物, ³甲南大・統合バイオ研)
- P55** 地衣群落レベルにおける共生藻類の多様性と分布パターン
 ○池田 彬人・堀口 健雄 (北大・院理・自然史)
- P57** 混合栄養性プロティストによる微細藻類の捕食に伴うクロロフィルの無毒化代謝
 ○丸山 萌¹・岡島 圭佑¹・山口 愛果²・柏山 祐一郎^{1,3} (¹福井工大・環境生命化学科, ²神戸大・自然科学系先端融合, ³JST・さきがけ)
- P59** Comparison of planktonic microalgae growth using LED lights
 ○Man-Gu Kang・Jae-Hoon Bae・Kyung-Dong Go・Su-Yeon Lim・Hui-Jong Chung・Jong-Ahm Shin (Department of Aquaculture, College of Fisheries and Ocean Sciences, Chonnam National University, Korea)
- P61** ミドリゾウリムシに共生するクロレラの細胞壁の解析
 ○松元 里樹・洲崎 敏伸 (神戸大・院理・生物)
- P63** 二分裂型 *Stichococcus bacillaris* が形成する糸状体の伸長と断片化
 ○山本 真紀¹・半田 信司²・河野 重行³ (¹専修大・自然科学研, ²広島県環境保健協会, ³東大・院・新領域・先端生命)
- P65** 南大洋インド洋セクターにおける海水中から得た浮遊珪藻 *Fragilariopsis* 属の形態学的研究
 ○滝本 彩佳¹・鈴木 秀和¹・小島 本葉²・茂木 正人³・小達 恒夫⁴・南雲 保⁵・田中 次郎¹ (¹海洋大・院・藻類, ²総研大, ³海洋大・海洋生物・極地研, ⁴極地研・総研大, ⁵日歯大・生物)
- P67** 渦鞭毛藻類 *Nusuttodinium* spp. における盗葉緑体拡大とクリプト藻核保持との関連
 ○大沼 亮・堀口 健雄 (北大・院理・自然史)
- P69** ミルイロスミレモ (スミレモ科, アオサ藻綱) の隔壁形成—独自の分裂様式による原形質連絡の獲得—
 ○正田 いずみ¹・半田 信司²・嶋村 正樹¹・坪田 博美¹ (¹広島大・院・理, ²広島県環境保健協会)
- P71** 新規オイル生産藻類 *Botryococcus braunii* - モドキ (MDK) の細胞学的な観察と遺伝子解析
 ○黒田 珠美¹・渋谷 祐馬¹・浅野 貴志¹・長尾 修平¹・川瀬 健志³・榎本 ゆう子^{1,2}・榎本 平^{1,2,3} (¹神戸大・人間発達環境学研, ²G> 社, ³神戸大・発達科学)
- P73** シアノバクテリア *Synechocystis* sp. PCC 6803 のリン, ヒ素取り込み
 ○室田 知里・辻下 真貴・藤原 祥子・都筑 幹夫 (東京薬科大学生命科学部・環境応答植物学研究室)
- P75** 微細藻類のクロレラの脂質生産量はフローサイトメーターを使って定量できるか？
 ○角井 今日子・河村 耕史・古崎 康哲・石川 宗孝 (大阪工業大学工学部環境工学科)
- P77** *Botryococcus braunii* 由来の *rbcS* 遺伝子プロモーターを用いた遺伝子発現ベクターの開発
 ○渋谷 祐馬¹・浅野 貴志¹・黒田 珠美¹・長尾 修平¹・川瀬 健志³・榎本 ゆう子^{1,2}・榎本 平^{1,2,3} (¹神戸大・人間発達環境学研, ²G> 社, ³神戸大・発達科学)
- P79** 未利用藻類の高度利用を基盤とする培養型次世代水産業の創出に向けた研究開発における国立環境研究所の取り組み
 ○河地 正伸¹・石原 賢司² (¹国立環境研究所, ²中央水産研究所)

14:30 – 15:45 口頭発表

A 会場 (301 教室)		B 会場 (302 教室)	
14:30	A14 与論島産シマチスジノリの驚くべき生育環境と光合成に対する光、温度の影響 ○寺田 竜太 ¹ ・渡邊 裕基 ¹ ・藤本 みどり ¹ ・豊谷 伊織 ¹ ・國分 翔伍 ¹ ・Gregory N. Nishihara ² (¹ 鹿児島大・水、 ² 長崎大・院・水環・環東シナ海セ)	B14	クロレラの重イオンビーム照射による突然変異誘導と屋外大量培養株の作出 ○竹下 毅 ¹ ・山下 雄一 ¹ ・大田 修平 ^{1,3} ・山崎 誠和 ^{1,3} ・大島 健志朗 ^{2,3} ・服部 正平 ^{2,3} ・風間 裕介 ⁴ ・阿部 知子 ⁴ ・河野 重行 ^{1,3} (¹ 東大・院・新領域・先端生命、 ² 東大・院・新領域・付属オーミクス情報センター、 ³ JST-CREST、 ⁴ 理化学研究所・仁科加速器研究センター)
14:45	A15 スサビノリ養殖品種の光合成に対する光と温度の影響 ○渡邊 裕基 ¹ ・川村 嘉広 ² ・三根 崇幸 ² ・Gregory N. Nishihara ³ ・寺田 竜太 ¹ (¹ 鹿児島大・水、 ² 佐賀有明水振セ、 ³ 長崎大・院・水環・環東シナ海セ)	B15	独立栄養下での <i>Chlamydomonas reinhardtii</i> の窒素栄養欠乏によるメタボローム変化 ○伊藤 卓朗 ^{1,2,3} ・曾我 朋義 ^{1,2} ・冨田 勝 ^{1,2} (¹ 慶大・先端生命研、 ² 同・政策メディア・先端生命、 ³ JST・さきがけ)
15:00	A16 藻場の溶存酸素濃度と光合成速度の日周リズム ○才津 真子 ¹ ・寺田 竜太 ² ・Gregory N. Nishihara ³ (¹ 長崎大・水、 ² 鹿児島大・水、 ³ 長崎大・院・水環・環東シナ海セ)	B16	コヒーレントアンチストークスラマンによる <i>Aurantiochytrium</i> sp. 18W-13a の細胞内脂質解析 石塚 圭 ¹ ・瀬川 尋貴 ² ・小出 昌弘 ³ ・吉田 昌樹 ³ ・渡邊 信 ³ ・加納 英明 ¹ (¹ 筑波大・院・数理物質、 ² 東大院・理、 ³ 筑波大・院・生命環境)
15:15	A17 Developing sea vegetable aquaculture in Maine ○Susan H. Brawley ¹ ・Sarah Redmond ² ・Charlotte C. Quigley ¹ ・Geneva York ¹ ・N. P. Brown ² ・Stephen Eddy ² ・Nicolas Blouin ³ (¹ School Mar. Sci., Univ. Maine, USA、 ² Maine Sea Grant, USA、 ³ Center for Cooperative Aquaculture Research (CCAR), Univ. Maine, USA)	B17	ボトリオコッカス <i>Botryococcus braunii</i> 由来“榎本藻”への遺伝子導入：「rbcS 遺伝子プロモーターベクター (pBbrbcS vector) の開発と利用」 ○榎本 平 ^{1,2,3} ・渋谷 祐馬 ¹ ・浅野 貴志 ¹ ・川瀬 健志 ³ ・黒田 珠美 ¹ ・長尾 修平 ¹ ・榎本 ゆう子 ^{1,2} (¹ 神戸大・人間発達環境学研、 ² G> 社、 ³ 神戸大・発達科学)
15:30	A18 全国6産地の養殖ワカメの形態と栄養塩吸収特性の比較 ○佐藤 陽一 ^{1,2,3} ・平野 智也 ^{3,4} ・二羽 恭介 ⁵ ・村上 素子 ³ ・鈴木 健 ¹ ・伊藤 泰 ¹ ・阿部 知子 ³ ・河野 重行 ² (¹ 理研食品 (株)、 ² 東大・院・新領域・先端生命、 ³ 理研・仁科、 ⁴ 宮崎大・農、 ⁵ 兵庫水技セ)	B18	Euglenozoa におけるクロロフィルの無毒化代謝の進化 ○柏山 祐一郎 ^{1,2,3} ・川原 純 ¹ ・洲崎 敏伸 ⁴ ・中澤 昌美 ⁵ ・石川 孝博 ⁶ ・丸山 萌 ¹ ・山口 愛果 ⁷ ・矢吹 彬憲 ⁸ ・宇塚 明洋 ⁹ ・宮城島 進也 ⁹ ・丸山 柁伸 ¹ ・白鳥 峻志 ¹⁰ ・横山 亜紀子 ¹⁰ ・木下 雄介 ³ ・民 秋均 ³ (¹ 福井工大・環境生命、 ² JST・さきがけ、 ³ 立命館大・生命科学、 ⁴ 神戸大院・生物、 ⁵ 大阪府大・生命環境、 ⁶ 島根大・生物資源、 ⁷ 神戸大・自然科学、 ⁸ JAMSTEC・海洋生物、 ⁹ 遺伝研・新分野創造、 ¹⁰ 筑波大院・生命環境)

15:50 – 16:50 公開特別講演会「大型藻類の未来ポテンシャルを求めて」(B 会場)

植田 充美 (京都大学大学院農学研究科, JST・CREST)

17:00 – 18:00 総会 (B 会場)

18:45 – 20:45 懇親会 (福岡リーセントホテル)

3月22日(日) 午前の部

9:00 – 12:05/12:20 口頭発表

A 会場 (301 教室)		B 会場 (302 教室)	
9:00	A19 1年生大型褐藻アントクメの子嚢斑形成部位と成熟期 ○秋田 晋吾 ¹ ・山田 博一 ² ・伊藤 円 ² ・藤田 大介 ¹ (¹ 海洋大・院・応用藻類、 ² 静岡県水技研・伊豆分場)	B19	プラシノ藻 <i>Pyramimonas parkeae</i> におけるエジクトソーム様構造の分子同定：ヒストンと酸性多糖の重合体から成る新奇ポリマー ○山岸 隆博・川井 浩史 (神戸大・内海セ)
9:15	A20 温度勾配に伴う愛媛県宇和海沿岸の藻場植生の変化 ○島袋 寛盛 ¹ ・吉田 吾郎 ¹ ・加藤 亜記 ² ・郭 新宇 ³ ・吉江 直樹 ³ ・堤 英輔 ³ (¹ 水研セ・瀬戸内、 ² 広島大、 ³ 愛媛大)	B20	雌雄同体群体から精子束が泳ぎでないで自家受精させるボルボックスの1種 ○野崎 久義 ¹ ・植木 紀子 ² ・三角 修己 ³ (¹ 東京大・理、 ² 中央大・理工/東工大・資源研、 ³ 山口大・理)

9:30	A21	鳥取県岩美町の鴨ヶ磯地先における藻場の構成種(大型褐藻類)および水平分布 ○原口 展子 ¹ ・和田 年史 ² (¹ 鳥取県立博物館, ² 兵庫県立大学)	B21	緑藻 <i>Chlamydomonas reinhardtii</i> の配偶子における受精管と眼点の空間配置の解析 ○宮村 新一 ¹ ・秋本 享大 ¹ ・南雲 保 ² (¹ 筑波大・生命環境, ² 日本歯科大・生物)
9:45	A22	褐藻ツルアラメの生長と繁殖におよぼす温度の影響 ○戸瀬 太貴・倉島 彰・前川 行幸 (三重大・院・生物資源)	B22	スピリリナのらせん形状を利用した金属マイクロコイルの構造制御 ○朴 貞子・彌田 智一・鎌田 香織 (東工大 JST-ERATO 彌田超集積材料プロジェクト)
10:00	A23	ユニケージを用いたガンガゼの密度が海藻植生に与える影響の解明 ○石川 達也・前川 行幸・倉島 彰 (三重大・院・生物資源)	B23	化学物質によるユーグレナ細胞膜の変化と誘電性質との関係 ○陳 林・洲崎 敏伸 (神戸大学大学院理学研究科)
10:15	A24	褐藻マツモ糸状体の生長様式 ○篠塚 美佐希・難波 信由・平塚 涼介・加戸 隆介 (北里大・海洋)	B24	<i>Chlorella sorokiniana</i> におけるオートファジーの3次元微細構造学的研究 ○大田 修平 ^{1,2} ・吉原 真衣 ¹ ・山崎 誠和 ^{1,2} ・南郷 脩史 ³ ・平田 愛子 ¹ ・河野 重行 ^{1,2} (¹ 東大・誠・新領域, ² JST-CREST, ³ ラトックシステムエンジニアリング (株))
10:30-10:35				休憩
10:35	A25	褐藻シオミドロ配偶子における走化性について ○木ノ下 菜々 ¹ ・長里 千香子 ² ・本村 泰三 ² (¹ 北海道大学・院・環境科学, ² 北海道大学・北方セ)	B25	無殻渦鞭毛藻 <i>Amphidinium</i> 属の1未記載種より観察された細胞鱗片の構造 ○笹井 理美 ¹ ・高橋 和也 ¹ ・岩滝 光儀 ² (¹ 山形大・院・理工, ² 東京大・アジアセンター)
10:50	A26	マイクロインジェクションを用いた褐藻類の原形質連絡における排除分子量の解析 ○長里 千香子 ¹ ・田中 厚子 ¹ ・Christos Katsaros ² ・本村 泰三 ¹ (¹ 北大・北方セ, ² University of Athens)	B26	系統関係より推察されるスエシア科渦鞭毛藻の微細構造と生態的特性の進化 ○高橋 和也 ¹ ・岩滝 光儀 ² (¹ 山形大・院・理工, ² 東京大・アジアセンター)
11:05	A27	褐藻アミジグサを用いた創傷ストレス応答の形態学的解析 ○田中 厚子・長里 千香子・本村 泰三 (北大・北方セ)	B27	日本沿岸域における珪藻類 <i>Chaetoceros</i> 属の形態及び分子系統解析 ○石井 健一郎 ¹ ・神川 龍馬 ¹ ・山口 峰生 ² ・山口 晴生 ³ ・石川 輝 ⁴ ・今井 一郎 ⁵ ・宮下 英明 ¹ (¹ 京大・地球環境学堂, ² 水研セ・瀬水研, ³ 高知大・農, ⁴ 三重大・院生物資源, ⁵ 北大・院水産)
11:20	A28	多核緑藻クダネダングサの傷害治癒における細胞骨格の役割 ○奥澤 大地 ¹ ・関田 諭子 ² ・奥田 一雄 ² (¹ 高知大学・院・理, ² 高知大・黒潮圏)	B28	<i>Cyanotheca</i> sp. Viet Nam 01 株と <i>Cyanotheca</i> PCC7822 の細胞外多糖の生産能と化学的性質 ○牧 しづか ¹ ・兼崎 友 ² ・佐藤 晋也 ¹ ・神谷 充伸 ¹ ・大城 香 ¹ ・岡島 麻衣子 ³ ・金子 達雄 ³ ・吉川 伸哉 ¹ (¹ 福井県立大学, ² 東京農業大学, ³ 北陸先端科学技術大学院大学)
11:35	A29	巨大細胞性藻類における細胞壁と細胞成長 ○峯 一朗・関田 諭子・奥田 一雄 (高知大・院・黒潮圏)	B29	陸棲ラン藻 <i>Nostoc commune</i> (イシクラゲ) における水ストレスタンパク質 A (WspA) の多型 ○坂本 香織 ¹ ・西内 巧 ² ・坂本 敏夫 ^{3,4} (¹ 金沢工大・バイオ・化学・応用バイオ, ² 金沢大・学際科学実験セ・遺伝子研究施設, ³ 金沢大・理工・自然システム, ⁴ 金沢大・自然・生物科学)
11:50	A30	配偶子, 胞子及び初期発生体を用いた海藻の凍結保存 ○金井 剛志・桑野 和可 (長崎大・院・水環)	B30	陸棲ラン藻 <i>Nostoc commune</i> (イシクラゲ) における化学型の同定 ○坂本 敏夫 ^{1,2} ・山場 みなみ ² ・西内 巧 ³ ・松郷 誠一 ¹ (¹ 金沢大・理工・自然システム, ² 金沢大・自然・生物科学, ³ 金沢大・学際科学実験セ・遺伝子研究施設)
12:05				B31 藍藻 <i>Phormidium</i> は作物の生長を助ける ○石川 依久子 ¹ ・花田 修賢 ² ・大田 修平 ³ ・杉岡 幸次 ⁴ ・宮脇 敦史 ^{1,5} ・安部 浩 ⁶ (¹ 理化学研究所・光量子工学・生命光学, ² 弘前大学・院・理工学, ³ 東京大学・院・新領域創成科学科, ⁴ 理化学研究所・光量子工学, ⁵ 理化学研究所・脳科学総合研究センター, ⁶ 東京農工大学・院・農)

12:20 - 13:20 昼休み

3月22日(日) 午後の部

13:20 – 14:20 ポスター発表(偶数番号)(207・209・305・307 教室)

- P02** 日本海沿岸における褐藻コンブ目の分布変化予測
○坂西 芳彦¹・川俣 茂²・戸瀬 太貴³・倉島 彰³ (¹日本海区水産研究所, ²水産工学研究所, ³三重大学・生物資源)
- P04** 千葉県館山市坂田地先潮間帯タイドプールに生息するムラサキウニの生態と海藻植生に及ぼす影響
○丁 兆吉・藤田 大介 (海洋大・応用藻類研究室)
- P06** 一般廃棄物溶融スラグ活用「藻場ブロック」の藻場再生環境と栄養塩溶出能
○馬 蕾¹・秋田 晋吾¹・小林 美樹¹・宮谷 寿博²・関 勇治²・山平 保宏³・藤田 大介¹ (¹海洋大・応用藻類, ²新日鉄住金エンジニアリング(株), ³マリンコア)
- P08** 広島県因島周辺の流れ藻の構成種と季節変化
○山岸 幸正・吉浦 仁啓・吉本 康平・三輪 泰彦 (福山大・生命工)
- P10** 和歌山市加太・田倉崎海岸における海藻相の研究
○丹羽 雅哉・鯉坂 哲朗 (京都大・院・農)
- P12** 愛媛県八幡浜大島におけるクロメ・ホンダワラ類藻場の分布状況
○田中 幸記¹・小野 兼作²・源平 慶²・花谷 幹春³・平岡 雅規¹ (¹高知大・総研セ, ²高知大・院理, ³大島漁業集落協定)
- P14** 山口県瀬戸内海および日本海沿岸におけるアマノリ類の分布
○阿部 真比古¹・村瀬 昇¹・浅井 健¹・見越 大次郎¹・畑間 俊弘²・鹿野 陽介²・金井 大成² (¹水産大学校, ²山口県水研セ)
- P16** NIES 藻類コレクションにおける絶滅危惧淡水産紅藻類の系統保存
○石本 美和¹・森 史¹・湯本 康盛¹・ノエル マリーエレン²・佐藤 真由美²・山口 晴代²・河地 正伸² (¹(財)地球・人間環境フォーラム, ²国環研)
- P18** 生葉上地衣類 *Strigula* (マンジュウゴケ属) に共生するスミレモ類は *Cephaleuros* ではなかった
○中原・坪田 美保¹・半田 信司²・正田 いずみ³・溝渕 綾²・原田 浩⁴・坪田 博美³ (¹千葉中央博・共同研究員, ²広島県環境保健協会, ³広島大・院・理, ⁴千葉中央博)
- P20** 北日本における紅藻サンゴモ属 (*Corallina*) 2種の集団遺伝学的解析
○大津 創¹・蛭田 眞平¹・小亀 一弘¹・馬場 将輔²・阿部 剛史³・Matthew H. Dick¹ (¹北大・院・理・自然史, ²海洋生物環境, ³北大・総合博物館)
- P22** 九州・四国沿岸域のアオサ属の種多様性と一新種の発見
○市原 健介¹・鈴木 亮吾¹・山崎 誠和¹・桑野 和可²・河野 重行¹ (¹東大・新領域, ²長崎大・水産)
- P24** 20年ぶりに発見された *Sargassum bulbiferum* タマエダモクの分類学的検討
○島袋 寛盛¹・三浦 俊一²・吉田 吾郎¹・小林 由紀¹・浜口 昌己¹ (¹水研セ瀬戸内・水圏リ, ²水研セ瀬戸内・水圏リ)
- P26** 愛媛県産大型アマノリの成長特性
○青柳 大輔¹・平岡 雅規² (¹高知大・理, ²高知大・総研セ)
- P28** 福岡県朝倉市甘木におけるオキチモズクの生育環境
○城内 智行¹・川越 雄介¹・吉田 忠生²・飯田 大和³・井上 義勇³・今村 吉弘⁴ (¹九環協, ²北海道大学名誉教授, ³オキチモズクを見守る会, ⁴福岡県朝倉県土整備事務所)
- P30** 環境 DNA 解析によるコンブ類の微視的配偶体世代の検出
○川本 広基¹・小杉 知佳²・加藤 敏朗²・田中 厚子³・長里 千香子³・本村 泰三³ (¹北大・環境, ²新日鉄住金(株), ³北大・北方セ)
- P32** ベトナム産ホンダワラ類 2種の光合成に対する光と温度の影響
○松本 和也¹・國分 翔伍¹・川口 栄男²・Triet Duy Vo³・Gregory N. Nishihara⁴・寺田 竜太¹ (¹鹿児島大・水, ²九州大・院・農, ³Nhatrang Institute of Technology Research and Application, Viet Nam, ⁴長崎大・院・水環・環東シナ海セ)
- P34** 異なるアオサ種の環境応答性に関する研究
○中村 方哉¹・矢部 徹²・玉置 雅紀²・石井 裕一³・有田 康一²・中村 雅子²・中嶋 信美¹ (¹筑波大学・生命環境科学研究科, ²独立行政法人国立環境研究所, ³東京都環境科学研究所)
- P36** 大型藻類における haploid/diploid 世代の相対サイズ進化と空間競争
○別所 和博¹・Sarah P. Otto² (¹The University of British Columbia・海外特別研究員, ²The University of British Columbia)
- P38** 山口県山口湾産カイガラアマノリ葉状体の生長と光合成特性
○村瀬 昇¹・阿部 真比古¹・洞 将太¹・畑間 俊弘²・鹿野 陽介² (¹水産大学校, ²山口水研セ)
- P40** 室蘭産マコンブと館山産アラメの光合成に対する光と温度の影響
○中嶋 好希¹・堀江 諒¹・新保 雅弘¹・松本 和也¹・京田 祐美¹・渡邊 裕基¹・Gregory N. Nishihara²・寺田 竜太¹ (¹鹿児島大・水, ²長崎大・院・水環・環東シナ海セ)
- P42** 藍藻に特有の新規 NADP 還元酵素の解析
濱口 朋江・廣田 翔平・白石 英秋 (京大・院・生命)
- P44** 山形県鶴岡産緑色渦鞭毛藻 TRD132 株の細胞内微細構造
○皿井 千裕¹・高橋 和也¹・谷藤 吾朗²・中山 卓郎³・神川 龍馬⁴・稲垣 祐司^{2,3}・石田 健一郎²・岩滝 光儀⁵ (¹山形大・院・理工, ²筑波大・生命環境系, ³筑波大・計算科学セ, ⁴京都大・院・地球環境, ⁵東京大・アジアセンター)
- P46** スエシア科とボルギエラ科渦鞭毛藻の中間に位置する海産未記載種 1 種の微細構造
○高橋 和也¹・和田 実²・石松 惇²・岩滝 光儀³ (¹山形大・院・理工, ²長崎大・院・水産・環境科学, ³東京大・アジアセンター)

- P48 A novel benthic dinoflagellate species belonging to the genus *Heterocapsa***
 ○Pinto Sohail Keegan¹・Ryuta Terada²・Takeo Horiguchi³ (¹ Grad. School Sci., Hokkaido Univ., ² Fac. Fish., Kagoshima Univ., ³ Fac. Sci., Hokkaido Univ.)
- P50 Diatom flora and its winter blooming around an urchin barren at Hirasawa, Uchiura Bay, Izu Peninsula**
 ○Sima Wenchu¹・Hidekazu Suzuki¹・Shingo Akita¹・Hirokazu Yamada²・Madoka Ito²・Daisuke Fujita¹ (¹ Tokyo University of Marine Science and Technology, ² Izu Branch, Shizuoka Prefectural Institute of Fisheries)
- P52 西表島で分離されたラビリンチュラ類の季節による系統群の違い**
 ○土井 耕作^{1,2}・上田 真由美^{1,2}・岩田 いづみ^{1,2}・浜本 洋子¹・本多 大輔^{2,3} (¹ 甲南大・院・自然科学, ² 甲南大・統合バイオ研, ³ 甲南大・理工・生物)
- P54 千葉県小湊産紅藻テングサ類の付着珪藻相**
 ○ト部 隼太¹・鈴木 秀和¹・南雲 保²・田中 次郎¹ (¹ 東京海洋大・藻類, ² 日本歯大・生物)
- P56 北西太平洋表層水における微細藻類の捕食に伴うクロロフィル代謝**
 ○四本木 彰良¹・近藤 竜二²・野牧 秀隆³・柏山 祐一郎^{1,4} (¹ 福井工大・環境生命, ² 福井県大・海洋生資, ³ JAMSTEC・生物地球化学, ⁴ JST・さきがけ)
- P58 淡水産アメーバ状生物による微細藻類の捕食行動とクロロフィル代謝の多様性**
 ○福田 圭祐¹・丸山 征伸¹・宇塚 明洋²・宮城島 進也²・柏山 祐一郎^{1,3} (¹ 福井工大・環境生命, ² 遺伝研・新分野創造, ³ JST・さきがけ)
- P60 淡水、海水の双方で培養可能な微細藻類について**
 ○高良 俊彦¹・Shao-Lun Liu²・須田 彰一郎³ (¹ 琉大・院・理工, ² Tunghai 大, ³ 琉大・理)
- P62 パルマ藻 *Triparma laevis* の珪酸質殻構築過程の形態学的解析**
 ○山田 和正¹・桂 大貴¹・佐藤 晋也¹・神谷 充伸¹・一宮 睦雄²・桑田 晃³・長里 千香子⁴・本村 泰三⁴・大城 香¹・吉川 伸哉¹ (¹ 福井県大・院・海洋生物, ² 熊本県大・環境共生, ³ 水研セ・東北水研, ⁴ 北大・北方セ)
- P64 珪藻の殻を裏打ちする有機層の形態的多様性**
 ○中村 憲章¹・真山 茂樹²・Matthew Julius³ (¹ 東学大・院・生物, ² 東学大・生物, ³ St. Cloud State University)
- P66 日本沿岸に出現するメガネケイソウ科 *Pleurosigmataceae* の形態分類学的研究**
 ○原 陽太¹・鈴木 秀和¹・松岡 孝典²・南雲 保²・田中 次郎¹ (¹ 海洋大・藻類, ² 日歯大・生物)
- P68 緑藻アミミドロの無性生殖過程におけるオートファジーの動態解析**
 ○田中 学・幡野 恭子 (京大・院・人環)
- P70 有中心粒目太陽虫の細胞表面に存在する珪酸質被殻の構造と形成機構**
 ○千原 あかね・ソン チホン・洲崎 敏伸 (神戸大・理・生物)
- P72 畜産廃棄物を用いた微細藻類バイオマスの生産システム効率化と有効利用**
 五味 直哉¹・大石 幸靖²・Kseniya FOMICHOVA¹・御園生 拓^{1,2} (¹ 山梨大・生命環境, ² 山梨大・工)
- P74 福井県丹生山地のため池群から分離したオイル産生藻類について**
 ○加山 基¹・柏山 祐一郎^{1,2} (¹ 福井工大・環境生命化学科, ² JST・さきがけ)
- P76 緑藻 *Chlamydomonas reinhardtii* における CO₂ 濃度条件と CCM 関連遺伝子の発現の推移**
 ○浅野 貴志¹・渋谷 祐馬¹・川瀬 健志³・黒田 珠美¹・長尾 修平¹・榎本 ゆう子^{1,2}・榎本 平^{1,2,3} (¹ 神戸大・人間発達環境学研, ² G> 社, ³ 神戸大・発達科学)
- P78 ミドリゾウリムシによる汚染土壌からのセシウム除去**
 ○中田 杏子・洲崎 敏伸 (神戸大・院理・生物)
- P80 山形市の水田より得られたオイル産生緑藻類**
 ○仲田 崇志^{1,2}・土田 雄大^{2,3}・伊藤 綺羅^{2,3}・高橋 廉^{2,3}・富田 勝^{1,2,4} (¹ 慶大・政策メディア・先端生命, ² 同・先端生命研, ³ 鶴岡中央高校, ⁴ 慶大・環境情報)

14:30 – 15:45 口頭発表

A 会場 (301 教室)		B 会場 (302 教室)	
14:30	A31 気候学的データと生理学的係数を用いたアマモの繁茂期現存量と生育下限水深の推定 ○本多 正樹 ¹ ・今村 正裕 ¹ ・中根 幸則 ¹ ・長谷川 一幸 ² ・三浦 正治 ² (¹ 電中研, ² 海生研)	B32 ハテナ共生藻の細胞内共生化による転写パターンの劇的な変化 ○山口 晴代 ¹ ・鈴木 重勝 ² ・本郷 裕一 ³ ・石田 健一郎 ⁴ ・井上 勲 ⁴ (¹ 国立環境研究所, ² 筑波大・院・生命環境, ³ 東工大・生命理工, ⁴ 筑波大・生命環境)	
14:45	A32 藻場形成における栄養カスケードの重要性：我が国初の事例研究 ○川俣 茂 ¹ ・田井野 清也 ² (¹ 水研セ・水工研, ² 高知水試)	B33 グリーンヒドラークロレラ共生系における分子相互作用とゲノム進化 ○濱田 麻友子 ¹ ・新里 宙也 ¹ ・Ulrich Kürn ² ・佐藤 矩行 ¹ ・Thomas C.G. Bosch ² (¹ 沖縄科学技術大学院大学・マリンゲノミクスユニット, ² Zoological Institute, Kiel University)	

- 15:00 **A33** 水温が海草コアマモの貯蔵炭水化物量に及ぼす影響
 ○米山 広高・倉島 彰・前川 行幸（三重大・院・生物資源）
- 15:15 **A34** 安定同位体標識を用いたアオサ類の多糖の生合成機構の解析
 ○椿 俊太郎¹・西村 裕志²・今井 友也²・平岡 雅規³（¹高知大学総合研究センター，²京都大学生存圏研究所，³高知大学海洋生物研究教育施設）
- 15:30 **A35** 褐藻アラメの摂食阻害物質フロロタンニン濃度・生産速度に対する無機環境の影響
 ○遠藤 光・青木 優和・吾妻 行雄（東北大・院・農）
- B34** シェアされる共生藻
 ○保科 亮¹・早川 昌志²・楠岡 泰³・洲崎 敏伸²（¹長浜バイオ大・バイオサイエンス，²神戸大・院理・生物，³琵琶湖博物館）
- B35** ミドリゾウリムシを用いた従属栄養状態と混合栄養状態の比較研究
 ○早川 昌志・洲崎 敏伸（神戸大・院理・生物）
- B36** ミドリゾウリムシ細胞内共生藻胞膜（PV 膜）のタンパク質解析
 ○槇本 純・早川 昌志・洲崎 敏伸（神戸大・院理・生物）

14:30 – 17:00 藻類学ワークショップ I 「藻類の和名について考える」（204 教室）

15:50 – 18:00 日本藻類学会第 39 回大会企画ミニシンポジウム
 「大型藻類バイオリファイナー研究の最新の進捗と将来展望」（A 会場）



有明海の海苔養殖